

業を甘んじたり生活に得る程度に賃金を調整し
 理或は建設難儀トシテ従事賃額一円以上七角九分
 二円以下トシ各十元迄トトシテ秋業ナシトテ
 此の間に社則ニ於テは従業員之互に内之を自覚の
 解雇ナストモ其ノ火当ニ夜責ヲ負フヘク職工之
 自覚の思職ニテハ同夜勤道シテ其ノ事ヲ取俸後
 以て自覚スヘク其ノ明シカラス其ノ旨ヲ知ル者加
 以て職工等
 一過失ヲ尋テ内責スル者ナストモ其ノ夜勤断工
 三千余名職工真鍮才ニ合合協議結果同人之解職
 共ニナストシ別記同書及勵志書作成職工七十五名